

# 一部返還免除で期間延長を

## 33年度以降は再度検討



黒沢一成議員  
(未来クラブ)

**問** 山田町育英会を32年度まで完全給付型にするようだが、予算はどこから。

また、33年度以降および現時点で貸与を受けている在学生との整合性は取れるのか。4年間の期間限定で完全給付ではなく、一部返還免除の形で対象期間を長くしたほうが良かったのでは。

**佐藤町長** 資金は、現行制度の山田町育英会および田代英雄奨学資金貸与基金が財源となる。給付型の実施は復興計画の最終年に当たる32年度までの4年間で最も必要性があると考えて実施する。

33年度以降については、再度、制度のあり方等も含めて検討する。



国体で応援する生徒たち 長続きする支援を望みたい

### その他の質問

- ◆ 仮設の道路でも歩行者に配慮した形にしては
- ◆ 浦の浜海水浴場を夏までに整備する考えは
- ◆ 降雨災害時の避難場所を住民と協議しては

### 学校統合 数年先を見通して方針を

#### 地域と意見交換し慎重に

**問** 統廃合は地域の納得があつて進むものであるが、地域にとって学校は一つのよりどころであり、自ら積極的な意見は出しにくい。

一方、少人数での教育環境を心配する声もある。今後少子化は進む

が、数年先を見通してある程度の考えは持つておくべきでは。

**町長** 保護者や地域住民と意見交換する機会を持ち、慎重に検討していく。今後の児童数の見込み等も示していきたい。

### バス路線 山田病院経由を便利に

#### 4月のダイヤ改正で協議

**問** 浦の浜地区の防潮堤・道路工事の進捗に伴いバス路線も切り替えが必要では。これに伴い山田病院経由バスの利便性を上げよ。

山田病院経由に関して、は昨年9月の開院以来、町、県医療局、県北バスの三者で協議を行っており、船越方面は1日往復2便を確保している。

**町長** 復興工事により道路の切り回しが頻繁に行われており、利用者には不便を掛けている。復興事業完了時には利便性が高くなるので、もうしばらく協力してほしい。

4月には山田駅前ロータリーにバス停を開設するなどダイヤ改正が予定されているので、その中で病院への乗り入れを増やすことで協議を進めている。